

1 題材名「自分の押し曲を紹介しよう」

2 目標

- ・音楽を形づくっている要素や歌詞の内容等に関連づけながら自分の好きな曲の評価とその根拠を自分なりに考え、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができる。（思考・判断・表現）
- ・曲想や音楽の構造との働きについて理解することができる。（知識）
- ・音楽を形づくっている要素と曲想との関わりについて関心を持ち、曲の良さや美しさについて理解を深めようとする。（学びに向かう力、人間性）

高等学校学習指導要領 芸術編 音楽 I

B鑑賞

ア鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の（ア）から（ウ）までについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。

（ア）曲や演奏に対する評価とその根拠

イ次の（ア）から（ウ）までについて理解すること。

（ア）曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり

3 題材にかかわる生徒の実態

高等部単一障がい学級の音楽科を選択している生徒は2年生2名、3年生1名の男子3名である。音楽が好きで歌唱や器楽の学習に意欲的に取り組む生徒や、歌うことや楽器を演奏することに抵抗感を持っている生徒など、音楽に対する興味関心は様々である。しかし、いずれの生徒にも、自分の好きな音楽のジャンルや歌手、曲があり、日頃から音楽を楽しんでいる様子が見られる。これまで鑑賞の学習では、サン＝サーンス作曲「動物の謝肉祭」を題材に、音の高低や強弱の雰囲気や動物を表現していることに気付いたり、「どうしてこの音楽はこの動物なのか。」と音楽を分析的に聴いたりする学習を積み重ねてきた。それぞれの曲の持つ雰囲気を自分なりに感じ取り、言葉で表現しようとする姿が見られた。

自分の好きな曲に対しては「この曲のこの部分が好き。」「聴くと気分が上がる。」「嫌いな曲はない。」など素直な感情を持つ生徒もいるが、その「好き」という感情の背景にある音楽的な要素（曲想、リズム、旋律、音色、速度、強弱、テクスチャ、構成など）に気付くことはどの生徒もまだ難しい。感覚的に「好き」だと感じている音楽の音楽的な要素に気付くことで、より深く音楽を理解したり、友達や身近な教師の好きな音楽に関心を持ったりすることができるようになってほしいと考え、本題材を設定した。

4 題材について

本題材は、高等学校学習指導要領（平成30年）の芸術（音楽編）の「B鑑賞」ア、イを組み合わせたものであり、「曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴くこと」について扱うものとする。今回の題材は、岡本真夜作曲『Tomorrow』、林部智史作曲『だきしめたい』、生徒ひとりひとりが選んだ「自分の好きな曲」である。

『Tomorrow』は第68回選抜高校野球大会の入場行進曲であり、明るく弾むようなリズムが歌詞の持つ前向きなメッセージを表現する応援ソングである。歌詞の内容や曲想を結びつけて曲の持つ良さを感じ取ることができると考え設定した。

「だきしめたい」はハ短調のしっとりした曲調でゆったりと遅めのテンポで大切な人への愛惜の気持ちが表現されている曲である。『Tomorrow』とは対照的に、短調によって生まれる味わいやゆったりとしたテンポなどから調の働きや曲全体に漂う雰囲気意識を向けられると考え設定した。

さらに、「自分の好きな曲」を題材にすることで、生徒が学習を自分事として捉え学習に取り組むことを通して、音楽を形作っている要素に気付き、その曲の良さをより感じることを考えた。特に、曲のリズム、旋律、調性、構成等に注目して聴き、知覚した音楽を形づくっている要素や歌詞の内容等に関連付けながら自分の好きな曲についてその理由を文章でまとめ、友達に紹介する。また、繰り返し曲を聴いたり、楽譜を見たりして気付いた曲想や表現上の効果、音楽の構造との関わりと関連付けながら、好きな曲を紹介するという形で根拠を持ってその曲を評価することをねらいとする。

5 指導について

導入では、自分がよく聴く好きな曲を1曲選び、その曲との出会いや、好きな理由、その曲を聴くとどんな気持ちになるか等をワークシートにまとめ、発表する。その後、音楽の要素に注目しながら自分の選んだ曲を聴いたり、必要に応じて楽譜を見たりして、分析する学習を行うために、「音楽を味わう」とはどんなことが分かるように、音楽を形づくっている要素にはどんなものがあるかを提示する。また、具体的にイメージが持てるように、教師がピアノで、生徒の身近な曲のフレーズをゆっくり弾いたり、速く弾いたりして速さに気付けるようにするなど、実際に聴くことで音楽を形づくっている要素にはどんなものがあるのかを理解できるようにする。

曲の分析では、曲を聴く際、どんなことに注目して聴くと良いかがわかるように、既習曲の『Tomorrow』（岡本真夜作曲）を、教師の好きな曲として紹介する。「この曲を聴くと元気が出る」と好きな理由を伝え、「元気が出る」のは音楽を形づくっているどの要素の働きによるものか聴き取っていく。範唱CDを通して聴き、聴きながら生徒と一緒に曲の速さ、強弱、音色（使われている楽器）、構成などの要素を板書する。全体を通して聴き、大まかな曲の雰囲気を掴んだ後、リズムや旋律、調などを一つ一つ、聴き取っていくようにする。リズムについては、冒頭のシンコペーションのリズムが特徴的であることに気付けるように、手拍子をしてそのリズムの軽やかさが曲の魅力であるということを感じられるようにする。調性については、聴き取った経験があまりないため、教師が長調と短調で弾いた同じ曲を聴き比べることで、明るい雰囲気を持つ長調と暗い雰囲気を持つ短調の二種類があることに気付くことができるようにする。さらに、『Tomorrow』とは対照的な『抱きしめたい』をT2の好きな曲として提示し、比較しながら『Tomorrow』とは違う短調の良さや旋律の美しさに気付くことができるようにする。T2がこの曲を聴くと「切ない」気持ちになると好きな理由を伝え、どうしてそう聴こえるかの要因を探るようにする。

教師が曲の分析の仕方を提示することで、自分の好きな曲をどのような視点で聴くと良いか、見通しがもてるようにする。

曲を繰り返し聴き、聴き取った音楽を形づくっている要素や音楽の構造、雰囲気や曲想等を根拠としてワークシートに整理することで、その曲の気に入っているところ、他者に紹介したいところなど、自分にとってその曲にどのような価値があるのかという評価をすることで鑑賞活動を充実させ、音楽を自分なりに評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができるようにしたい。

6 指導計画（本時3／4時間）

	実施日	学習内容	評価の観点		
			知	思	主
1	9月24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 好きな曲を選び、その曲との出会いや好きな理由を書く 好きな曲をお互いに聴き合い、感想等を共有する。 			○
2	9月29日(月)	<ul style="list-style-type: none"> 教師の好きな曲『Tomorrow』を紹介し、全体を聴くことを通してその曲の速さや調、曲の構成などを例示する。 教師のモデルに沿って自分の好きな曲の速さ、調、曲の構成に注目してワークシートを記入する。 		○	
3	9月30日(火) 本時	<ul style="list-style-type: none"> 教師の好きな曲『Tomorrow』『だきしめたい』を紹介し、曲のリズムに注目して聴く。 リズムをより感じられるように手拍子をしたり、必要に応じて楽譜を見たりする。 自分の好きな曲のリズムに注目してどんな特徴があるかを考えワークシートにまとめる。 旋律（調性）に注目して聴くことができるように、『Tomorrow』を長調と短調で聴き比べ、調がもたらす雰囲気の違いを感じられるようにする。 自分の好きな曲の旋律に注目してどんな特徴があるかを考え、ワークシートにまとめる。 		○	
4	10月1日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 教師の好きな曲『Tomorrow』『だきしめたい』の曲の構成に注目して聴く。 これまで聴いた教師の好きな曲のワークシートをもとに自分の好きな曲を分析する。 自分の好きな曲の特徴を紹介する。 	○		○

7 本時について

(1) 全体の目標

- ・リズムや旋律に注目して聴き、その曲の良さに気付いたり、聴き取ったことを根拠にしてその曲の良さを言葉で表現したりすることができる。

(2) 対象生徒の個別の実態と目標

生徒	単元にかかわる実態	個別の目標	評価の観点		
			知	思	主
a	<ul style="list-style-type: none"> ・曲を聴いて感じた雰囲気を言葉で表現することができる。(感性) ・その雰囲気が音楽を形づくっている要素やその働き(速度や強弱)によるものだと気付くことはまだ難しい。 ・教師が「どんな速さだった」等、聴く視点を与えることでその曲の速さやに気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律やリズムの特徴を聴き取り、その曲の良さを言葉で表現することができる。 		○	
b	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜を見て強弱記号などを手がかりに、曲の一番盛り上がる部分を読み取ったり、考えたりすることができる。 ・選択肢を提示することで曲を聴いて感じたことを言葉で表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律やリズムの特徴を聴き取り聴き取ったことを根拠にしてその曲の良さを言葉で表現することができる。 		○	

(2) 学習活動の展開

時間	学習活動	主な支援(○) 留意点(・) 評価の観点(☆)
導入 5分	<ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ(修礼の合図) 2. 『Tomorrow』を聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が輪番でピアノを担当する。 ・T1の好きな曲として『Tomorrow』を紹介する。
展開 35分	<ol style="list-style-type: none"> 3. 『Tomorrow』を聴くと「元気になる」のはどんな働きによるものかを考える。 4. 『Tomorrow』のリズムについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要に応じて、客観的に音を表す言葉の選択肢を示したり、選択肢を与えたりする。 ○シンコペーションのリズムに注目できるように、楽譜を見ながら手拍子をして、そのリズムが何回登場するかを確認する。 ○シンコペーションの部分を8分音符に変えて手拍子をし、シ

	<p>5. 『だきしめたい』を聴く。</p> <p>6. 『Tomorrow』の調性について考える。</p> <p>7. 『だきしめたい』の調性について考える。</p> <p>8. T2が「切ない」と感じる要因はどこにあるのかを考える</p>	<p>ンコーションのリズムの面白さに気付けるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・T2の好きな曲として『だきしめたい』を紹介する。 <p>○感じたことや印象に残ったことを書く</p> <p>○『だきしめたい』のリズムに注目して聴く。</p> <p>☆曲の音楽的特徴を捉え、言葉で表現できているか。</p> <p>○『Tomorrow』の旋律を長調と短調で弾き、聴き比べることで調が曲の雰囲気大きく影響することに気付くことができるようにする。</p> <p>○旋律や伴奏等、特徴的な部分に絞って聴くことができるように言葉掛けを行う。</p> <p>☆曲の音楽的特徴を捉え、言葉で表現できているか。</p>
<p>ま と め 10 分</p>	<p>9. 教師のモデルに沿って『だきしめたい』の曲の速さ、調などに注目してワークシートを記入する。</p> <p>10. あいさつ（修礼の合図）</p>	<p>○聴き取ったリズムや調性等の特徴をワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が輪番でピアノを担当する。

※場の設定 音楽室

